平成２０年度　能代河川国道事務所の事業概要

事業推進のキーワード　「**環境**の保全」「地域との**情報**の共有」「**コミュニケーション**」

能代河川国道事務所の河川事業は
「平成１９年９月洪水の緊急的な治水対策の実施」
を事業テーマとし、秋田県北地域を管内に河川事業と道路事業を通じて、
「強く美しい秋田県北地域の創造」に向けて事業を進めます

当初予算の事業費内訳（単位：百万円）

内　　容	Ｈ１９当初	Ｈ２０当初	H20/H19
復緊	－	２，１８０．０	－
改修	３６２．０	１３１．５	０．３６
維持修繕	６７１．８	６６０．８	０．９８
応急対策	３４．４	３５．２	１．０２
災害復旧	－	１１４．２	－
環境整備	３７．０	４３．０	１．１６
河川関係計	１，１０５．２	３，１６４．７	２．８６

１．河川事業の概要
～「平成１９年９月洪水の緊急的な治水対策の実施」～

《　直轄河川災害復旧等関連緊急事業　》

平成１９年９月１７日の豪雨により、米代川全域で氾濫危険水位を越え、各地で甚大な被害を受けました。

このことから、米代川支川阿仁川において「災害復旧助成事業（秋田県）」の実施に伴い、米代川本川においても「直轄河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）」を実施し、河川上下流一体となった家屋への浸水被害の軽減を推進します。

この事業は、平成１９年１１月に事業採択されており、平成２２年度の完成を目指します。

米代川直轄河川災害復旧等関連緊急事業　　【ｐ４】

平成２０年度は、河道掘削（能代市）、麻生地区築堤（能代市）、天内地区（能代市）の堤防強化等を平成１９年度に引き続き実施します。

《　直轄河川改修事業　》

堤防の浸透に対する安全のための詳細調査検討等、河川調査を継続して実施します。

《　直轄河川維持修繕事業　》

米代川の直轄管理区間の７５．６㎞について、大雨や雪解け時の出水による洪水に備えて、堤防、護岸、水門等の維持修繕を行います。

また、河川空間および環境の向上のため、堤防除草や堤防上面の補修等を行います。

《　直轄河川工作物関連応急対策事業　》

河川工作物において、工作物点検を実施し、変状等が確認された箇所について応急対策を行います。

《　直轄河川災害復旧事業　》

平成１９年９月１７日の豪雨により、米代川全域で氾濫危険水位を越え、各地で甚大な被害を受けました。

これを受けて、米代川の国管理区間における災害復旧事業として、被災した１５箇所の復旧を推進します。

この事業は、平成１９年１１月に事業採択されており、平成２０年度の完成を目指します。

米代川直轄河川災害復旧事業

平成２０年度は、被災した堤防・河岸合計１５箇所の復旧を平成１９年度に引き続き実施し、災害復旧の完成を図ります。

《　直轄総合水系環境整備事業　》

良好な河川環境及びダム環境を保全・復元並びに創出することを目的に、周辺地域と一体となって親水等の河川利用の推進を図ります。

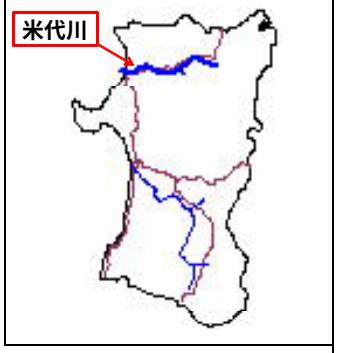
扇田（おうぎだ）地区環境整備（大館市）　【ｐ５】

平成２０年度は、階段護岸等の整備を平成１９年度に引き続き実施します。

事業名	米代川(よねしろがわ)直轄河川災害復旧等関連緊急事業 (秋田県能代(のしろ)市他)

事業着手:平成19年度	完成・供用の目標年度:平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



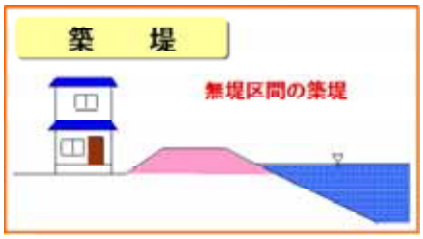
「事業の必要性」

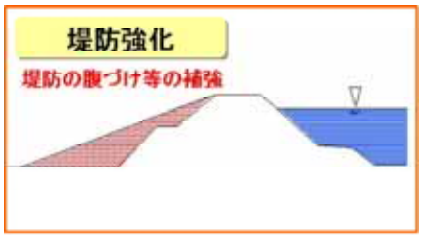
平成19年9月豪雨で、越水・破堤等による激甚な被害があった支川阿仁川(秋田県管理区間)において助成事業による改良復旧を実施すると、これまで上流域で氾濫していた洪水が下流まで流下することとなるため、米代川においても流量増大に対応した河川整備が緊急的に求められています。

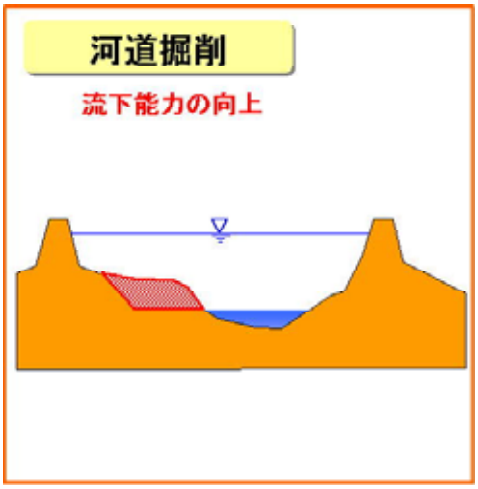
「事業の概要」

阿仁川の助成事業による流出増に対応した流下能力を確保して流下させるため、河道掘削を実施。あわせて掘削土を有効活用し、家屋浸水対策(築堤等)および堤防強化を実施します。









平成20年度事業費及び事業内容

○河道掘削、築堤、堤防強化を実施します。

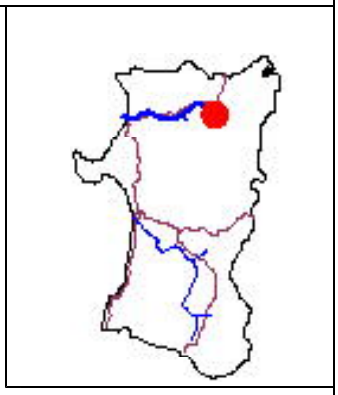
事　業　効　果

○家屋浸水被害の解消と堤防の質的向上が図られます。

事業名	米代川（よなしろがわ）水系直轄総合水系環境整備事業（扇田（おうぎた）地区水辺整備事業）（直轄） （秋田県大館（おおだて）市）

事業着手：平成19年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



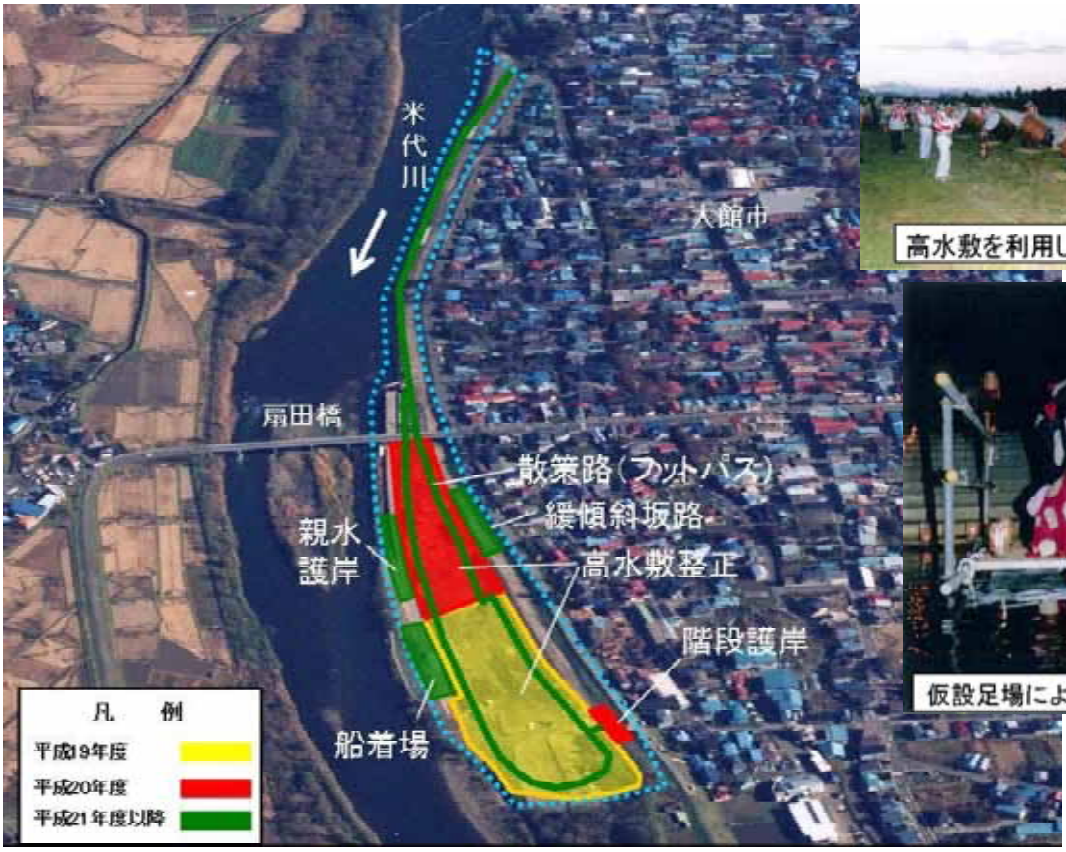
「事業の必要性」

大館市では、平成17年度～平成21年度までの5年間で「安全で利便性の高い住環境の整備による賑わいとふれあいのあるまちづくり」をテーマに新たなまちづくりが進んでいます。当該地区は、藩政時代には、舟運と相まって、地域の交流拠点となっており、河川敷を活用した伝統行事等が行われています。このようなことから、環境学習や地域の歴史文化を学び、伝承する場として、河川公園への関心が高く、地域住民・学識経験者・行政からなる「米代川扇田地区河川緑地協議会」が設立され、熱心な要望が出され、整備が望まれています。

「事業の概要」

本事業は、地域住民・行政・河川管理者が協働し、「水辺とふれあい、人と人が交流し、地域連携の拠点」としての水辺空間を創出していきます。

【整備概要図】



【当該地区の利用状況】

高水敷を利用した送り太鼓

仮設足場による灯籠流し

平成20年度事業費及び事業内容

○階段護岸等を推進します。

事　業　効　果

○当該地区は、古くから米代川と深い関わりのある地区で、米代川舟運の川港として栄え、伝統行事である送り太鼓や灯籠流しを高水敷を利用して行われており、さらなる河川利用が図られる。